

久佐太郎 ひささう 冠句研究家、劇作家。明治二十四年六月一日兵庫森神
 戶生れ、昭和二十年七月一日歿（一九九一—一九五五）。本名大田綱夫。しげと筆名
 丘草太郎、寛小太郎、草太郎等。早稲田大學英文科卒。白痴歌之介等
 の同人雑誌『聖益』、『復面』、更へ『早稲田文學』、『新潮』等へ
 戯曲、小説、評論等を発表。大正二年東京時事新報社入社、次へ『讀賣
 新聞社』、『婦人俱樂部』編輯長を経て、昭和四年小林一三主宰の國民
 座文藝部長となる。この間大衆誌『吾樂』を創刊、二年には文藝塔社
 を興し、機關誌『文藝塔』を創刊主宰して正風冠句を提唱、その興隆
 発展に盡瘁した。

著書に、『ゴザ物語』（丘草太郎名、大正四年一月五日實業之日本社）
 『世界名著物語』、『現代冠句大觀』（編著、昭和四年七月五日集
 人社書屋）、『正風冠句新講』（昭和十一年四月十五日交蘭社）、遺
 作冠句集『蒼天』（昭和二十二年七月一日京都・文芸塔社）等。

